

# 広報 なぎじん

No. 80

1982年 7月

村章

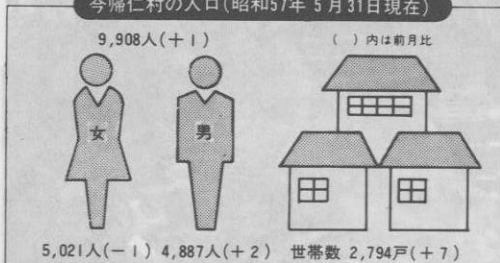
(毎月1日発行)



### ▲郷友会も参加—今泊区民運動会

字今泊(仲宗根哲夫区長)の「57年度今泊区民運動会」が、6月6日(日)午前10時より区民運動場で行われた。これは区民や郷友会の親睦と体力の向上を図ろうというもので、区民500人の外、中南部・名護の郷友会からも多数の字出身者が参加した。

### 今帰仁村の人口(昭和57年5月31日現在)



編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係  
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101  
印刷：沖縄高速印刷株式会社  
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

- 今月の主な内容
- 今帰仁村を育てるのはあなたです  
村①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩  
みんなの声を村政へ
- 経営の合理化を推進  
村商工会が五七年度総会  
会長ほか新役員を選出  
村婦人会五七年度総会開催  
五五年国調から  
減少する農業人口  
村民コーナー私の一言  
かえり咲いて婦人活動に参加して  
字上運天四三五 島袋富美子  
勇壮海の祭典  
ハリー行われる  
十二チームが出場  
第八回村職域バレー大会  
若き後継者たち③  
昨年からすいか栽培  
崎山の仲村吉人さん  
故兼次忠蔵氏の論文集村に寄贈



完成した肥育センター

サイロなどを備

増となつていきます。次に信用事



役員改選、事業計画などを承認した総会

肉用牛集約生産基地育成事業の一環として進められていた「今帰仁村農協肉用牛肥育センター」がこのほど完成。六月十五日午後三時から同センター内で落成式が行われた。式には総合事務局、県農林水産関係者、

農協肥育センター落成

繁殖農家肥育農協

で生産性を向上

村から村長、議員、区長、畜産農家など、約百五十名が出席し、落成を祝った。テープカットの後、大嶺武治村農協長は「繁殖を組合員に分担させ、飼育上危険度の高い肥育を農協が合理的な設備と技術

で開拓していきたい」とあいさつをのべた。肉用牛肥育センターは、これまで沖縄県農業試験場果樹試験地として使用していた呉我山西アザナ原の村有地に、総事業費一億一、六五七万九千円（県補助八、一四六万七千円、農協負担三、五一一万二千元）で建設。三六〇平方メートルの肥育牛舎のほか育成牛舎、家畜管理施設、サイロなどを備

各事業とも目標を達成

村農協が五十七年度総会開催

村農協（大嶺武治組合長、組合員二、〇二〇人）の五十七年度通常総会が、六月二十七日午後二時から役場ホールで行われました。総会には約六百人の組合員が出席し、五十六年度事業報告、五十七年度事業計画など十三の議案を承認しました。

五十六年度の事業実績では、指導、販売事業をはじめ信用、共済、購買も計画どおり目標を達成したとし、今後に明るい展望をみせています。まず販売事業では、農畜産物の総額は十五億四、三六八万六千円で、前年度に比べ三、六四四万七千円の増となつていきます。次に信用事

業は、貯金目標四五億一千万円を達成し、貸付についても計画十七億五千万円に対し十七億八百万円とほぼ目標に近い実績。共済事業は、新契約目標二四億円に対し二四億一千万円の実績。利用事業もセリ部門で牛の計画一、一〇〇頭に対し一、〇九八頭、子豚八、〇〇〇頭に対し八、七四八頭の実績となっています。また、今総会で役員改選も行われ、さらに各事業の部で協力した十一の字、生産部門で優秀な成績を納めた六九人の組合員に対し感謝状が贈られました。村農協では前年度の実績をふまへ、今年度は①耕地の基盤整備②農協事務所の移転③後継者の育成④農業機械の協同利用と効率化⑤移出園芸品目の定着化を重点目標として、各事業の推進、財政の健全化を図っていくことにしています。

今帰仁村を育てるのはあなたです 村を考える懇談会

みんなの声を村政へ

今帰仁村の将来をどうするか？これは一万村民すべてが考えなければならぬ大きな課題です。みんなの声を一堂に集め、明るい住みよい村づくりを進めてみませんか。村では七月一日から「今帰仁村を考える懇談会」を行います。これは、行政を預る村長と村民がひざを交え、意見交流をすることによって、よりよい意見を村政に反映させようというものです。会には、松田幸福村長、内間敏助役、池原善治収入役、大城勝三教育長のほか、全課長が出席します。懇談会に多くの皆様の参加を期待します。

懇談会日程

(日程は変更することもありますので各区長にご連絡下さい)

Table with columns: 月日, 曜日, 字名, 時 間. It lists the schedule for the village council discussion meetings from July 1st to 27th.

第3回今帰仁村まつり

8月21日(土)・22日(日)に決定!

第3回今帰仁村まつり実行委員会(実行委員長一松田幸福村長)では、6月14日会を開き今年の村まつりを8月21日・22日に実施することを決定しました。行事内容等につきましてはまだ未定です。



▲緑豊かな今帰仁村いつまでも平和な住みよい村であってほしいものです。(写真—今帰仁城跡)



# 経営の合理化を推進

## 村商工会が五七年度総会

昭和五十七年度の村商工会（座間味栄金会長）の通常総会が、五月二十九日午後三時から中央公民館で行われた。

総会では、五十六年度事業報告・決算・五十七年度事業計画予算、運営資金の借入限度額の承認、定款の一部改正、運営規約の改正が行われた。

総括によると、長期不況にあつて景気回復はきびしかったが経営改善普及事業や小売商業近代化調査事業等、一般事業を推進するとともに、金融の円滑化を図り商工業者のため明るさを持続することができた——とし、

今後に明るい展望をみせている。また、今年度は

- ①小売商業近代化対策事業の推進
- ②経済動向の把握と物価調査の実施
- ③観光PRの促進
- ④経営者の経済観念の高揚と経営者の知識・技術の向上と、健全な地域社会の建設に努めていくことにしている。

### 地域小売商業近代化対策事業について

村商工会では、調査委員会を設置して、委員会を開催し先進地の視察研修および資料の収集分析によって地域小売商業近代化の方向性を追求した。委員の氏名は次のとおりだが、商工会では具体的な方向づけをする意味においても同調査事業を重ねて実施することになっている。



数々の事業推進のための討議がかわされた商工会総会

要約的に云えば、村内の小売商業は殆んどが住宅の一部を利用した副業的性格を有するものであり、極めて零細規模である。そのうえ、約十世帯に対して一店舗の割合で数が多く、しかも取り扱い商品は食糧品や日用雑貨とや、共通しており、互いにしのぎを削っているのが現状である。

昨年実施された本村における小売商業近代化対策の一環として行われた調査で明らかにされた独自の特徴は「購買力の村外流出」であった。

このことは、県内の多くの地域において中・大型店舗の進出が大きな脅威であり、それへの対応が迫られている現状にあるのに対して、本村では何よりも購買力の流出に歯止めをかけることが焦眉の課題であることを意味している。

如何にすばらしい総合開発計画を策定しても、現実に村総所得の部留りを引き上げることに意を配らなければ、まさに絵に書いた牡丹餅に等しい。通過性地域として地の利を得ることが難しいうえに、零細規模な小売商業が散在する本村において、人口の滞留する隣接の名護市や本部町のように商業核を形づく

### 地域小売商業近代化対策調査事業報告にみる 村内小売商業の現状と課題

上 間 隆 則

り、そこから生ずる顧客吸引力に大きな期待がもてないことは至極当然であるといえるかも知れない。

しかしながら、このような宿命的环境にあつて、相応の対策を講じ、経営努力を積み重ねることがなければ、ますます過疎化の一途を辿り、ひいては村経済も干涸びることにもなりかねないのである。

村外への購買力流出の主因が小売業者の品不足にあることも本調査で明らかにされた。とくに、衣料品に対する村外流出率が六七・四％もあることは大きな課題としてうけとめなければならない。村内の消費者ニーズへ応えるためには、組織を強化し、組織の力を活用することが最も手近な方法と云えよう。

このことによつてこそより安価な仕入や品揃えが可能となるのである。さらに、休憩所、駐車場あるいはトイレトなど購買行動の環境整備と並行して、本村に適しい規模の商業核を形成することもできるのである。

購買力の流出を防止し、村内

地域小売商業近代化対策調査員名

上 間 隆 則	琉球大学 今婦仁村企画財政課長
小 那 集 一	今婦仁村経済課長
伊 小 濱 孝 一	今婦仁村婦人会長
座 間 味 袋 辰	今婦仁村商工会長
島 玉 金 良	今婦仁村商工会監事
	今婦仁村商工会副会長
	今婦仁村商工会青年部長

## 村婦人会57年度総会開催 会長ほか 新役員を選出 各部会で目標を設定

村婦人会（会員六五〇人）の昭和五十七年度総会が、六月十五日午後二時から会員一五〇人が出席して中央公民館で行われました。

開会の後、小浜孝子会長は「会活動の積み重ねである記念誌ももうすぐ発行できる。今後生活の向上と村の発展をめざし、力を結集しましょう」とあいさつ。その後議事に入り、五十六年度事業報告並びに決算、五十七年度事業計画・予算・役員改選を満場一致で可決しました。その結果、新役員が次のとおり決まりました。

- 会長—諸喜田スエ子（仲宗根）
  - 副会長—仲村カナ（上運天）
  - 書記—松川光子（謝名）
  - 会計—島袋富美子（上運天）
- またこれらの新役員を中心に、各部門でも重点目標を設定し積



▲役員選出を行った婦人会総会

極的に各活動を推進していくことが確認されました。

- 総務部（当山弘子部長）
- 組織強化、主張大会、青少年問題、交通安全
- 教養部（仲本春枝部長）
- 研修会・講習会の開催、視察研修

## 福祉の向上をめざし 老人クラブ大会開催

村老人クラブ関係者が一堂に集り、反省と意見交流をすることにより、一層の充実と老人福祉の向上を図ろう——と、第八回村老人クラブ大会（湧川善雄会長、会員一、五五一人）が、六月八日午後二時から役場ホールで行われました。

大会では、五十六年度事業報告並びに決算、五十七年度事業計画並びに予算が可決され、役員改選では全役員が留任。また、

- 生活部（新里キヨ部長）
- 物価調査、美化コンクール、清掃、家計簿記帳の推進
- 厚生部（平良カエ子部長）
- 検診事業、母子保健、一人暮らし

## 七人に感謝状贈呈

村PTA連絡協議会（沢岬安博会長）では、六月十七日午後三時から中央公民館において、五十七年度総会を開いた。

総会では今年度事業計画の承認と予算審議が行われ、次いで永年の活動が顕著な会員に対し感謝状が贈られた。

今回表彰されたのは、嘉陽重恒（湧小中）、津波古清吉（湧小

し老人声かけ運動、施設訪問、スポーツ大会、盆まつり、レク講習会の開催

村PTA連絡協議会で  
中、照屋安子（天小）三輪茂穂（今中）国吉宗貞（今小）具志堅清雄（兼小）西島光男（北山高）の七氏。

同協議会では、今年度事業としてバレーボール大会や童話お話し大会を催すことにしている。

総会で表彰された方々

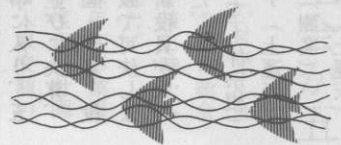


北山高PTA 西島光男氏 兼次小PTA 具志堅清雄氏 今婦仁小PTA 国吉宗貞氏 今婦仁中PTA 三輪茂穂氏 天底小PTA 照屋安子氏 湧川小中PTA 津波古清吉氏 湧川小中PTA 嘉陽重恒氏



### 55年国調から

## 減少する農業人口



全国的にみた場合、産業別就業者数は高度成長時代以後大きく変わってきています。工業の急速な発達に伴って労働者が農業から工業へと吸収され、その結果、農業の比重が低下し第二次・第三次産業部門が増加してきています。遠隔地にある今帰仁村も例外ではなく、就業者数が減少すると同時に、これまでの農業中心から多様化した産業職業構成へと移行してきています。

産業別に就業者数をみると、第一次が四五・三%を占めもつとも多い。次に第三次三六・九%、第二次十七・七%の順となつています。第一次はほとんどが農業で全産業の四四・一%を占めています。しかし減少の度合が大きく、四十五年から五十年までの十年間で二六・七%も減少してきています。このことが本村の就業者数の減となつて表れてきています。新卒者の農業就業者が極めて少く、これまでの社会経済の背景と農業を取り巻く環境下では農業労働力が他産業へ流出せざるを得なかったのかもしれない。

産業別就業者数 資料：国勢調査

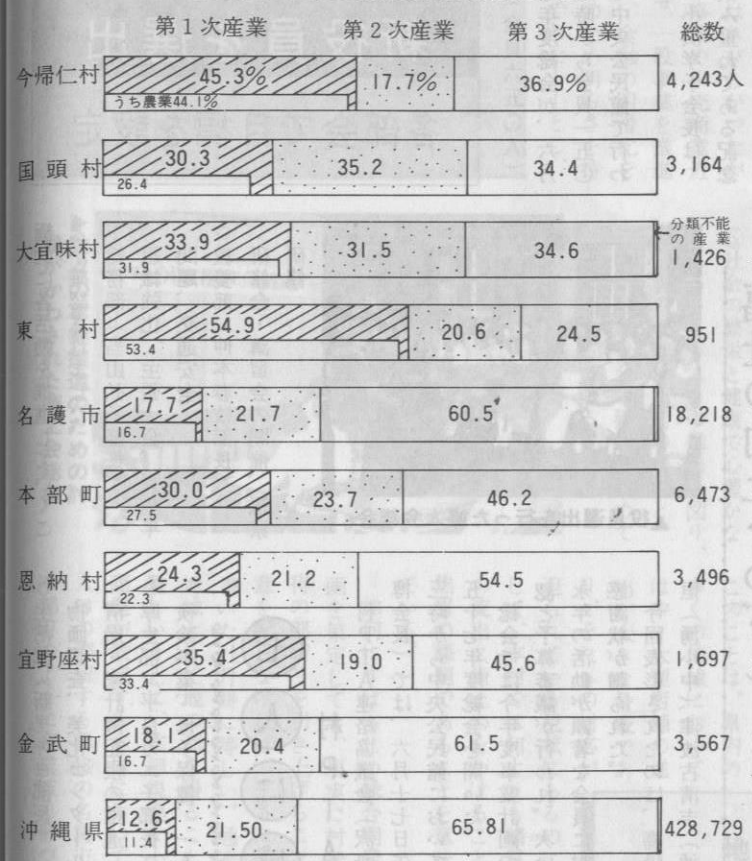
産業	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
総数	5,763	5,146	4,301	4,736	4,243
第一次産業	4,377	3,415	2,555	1,744	1,924
農業	4,374	3,401	2,550	1,706	1,871
狩猟		9	1	1	2
林業		5	4	37	51
漁業	3				
養殖業					
第二次産業	572	736	713	802	751
建設業	0	0	0	1	3
製造業	142	212	289	499	489
第三次産業	430	524	424	302	259
卸売業	814	995	1,033	2,190	1,565
小売業	264	315	365	641	576
金融・保険	16	15	14	37	24
電気・ガス	0	5	5	13	13
水道	360	402	387	1,107	631
運輸	78	108	120	227	182
通信	95	150	142	149	139
分類不能	1	0	0	16	3

最近、農村も次第に都市化し、生活様式も考え方も多様化しつつあります。今後私たちの村を考へる場合、これらのことを念頭におく必要があるでしょう。

〈企画財政課統計係〉



### 北部市町村産業別就業者数の割合



資料：国勢調査



### 重箱廃止を 全会員で推進

私たちの上運天は、波静かな美しい羽地内海に面し、運天港を持つのかな部落です。

第二次世界大戦には、日本海軍の戦艦基地があった関係で被害がひどく、部落民は今日の生活にも事欠く情勢でした。その中で婦人たちは、生活を取り戻すため組織の必要性を感じ、昭和二十二年初代会長に島袋道子氏を選任し字上運天婦人会が結成されました。

昭和二十四年今帰仁村婦人会が結成され、初代会長の上間カズ氏の努力で「生活を豊かにしよう」との目標をかかげて設立総会が開かれ、まず家庭の健康管理は主婦の任務であるとのことから、重箱廃止を全会員で強力に推進しました。これは、当時の僅かな配給物資が日常の食糧にみえず、交際のため使われているのを重く見て「重箱廃止

## かえり咲いて 婦人会活動に参加して

### 字上運天四三五 島袋 富美子

をしない限りこの慣習の打破はできない」ということからでした。そして、一年二年でほとんど改善され、運動の成果を見ることができました。

こうした殺伐とした中で、生活の進展を図るべく村に生活改善普及員が配置され、衣食住の改善と指導がされました。台所の改善をはじめ、作業衣の工夫、味噌作り、日常食の料理講習会等も持ち、婦人一人一人が一家の主婦としての役割を果たす様になりました。また農協婦人部の設立や、生活改善グループ等による日用品の共同購入は、生活上に大きな役割を果たしてききました。時代の進歩とともに主婦として、また母としての教育を身につけようと、社会教育主事の山内先生や座間味先生をお招きして教養・知識を高める講座を度々持ち、その中で集る

毎に会員の親睦を深め、雪山讃歌、ふるさとを唱ったことは今も記憶に残っています。

当時のランプの下での集會から現在は電気生活へと時代は進み、婦人会活動も文化生活の中に根ざした幅広いものになりました。婦人の主張、生改グループの活動発表、農協の家の光記事活用発表等、婦人が地味的にしても、日常生活にしても、たくましく成長し、時代の進歩に遅れないように自らの努力が伺えるこの頃です。

私は家庭の都合もあつてしばらく積極的に参加することができませんでした。その間テレビは良くNHK番組を見ることにし、社会情勢やニュース等で私なりに視野を広めることに努力しました。

昨年の十二月、五十六年度の字婦人会長改選の時に、先輩の

### 意義深い 活動の成果

第一次とは逆に、第二次・第三次は増加しています。とくに第三次は四十五年から五十年までの十年間で五三二人、五一・五%と急増し、第一次をしのぐほどです。第二次では建設業が多く、製造業はしだいに減ってきています。第三次は、卸売・小売業・サービス業が主で、増加傾向を示しています。海洋博時の五十年にはとくに膨みが見られます。

本村では、農業就業者数が半数を割っていますが、農業就業者が半数を割っています。しかし、北部の市町村と比較すると東村に次いで高い。対県では、約四倍も高く、いかに農業を基盤とした村であるかがわかります。本村の第三次は相対的にみて少いほうです。しかし非農業者が半数以上おり、七〇%以上を占めていたかつての時代とは社会構造がだいぶ変わらうとしてきているといえます。

仲村さんが「返り咲いて婦人会会長に頑張ってみないか」と、何気なく私に声をかけられました。私は全身に熱気がさし「そうだ。五十年代から七十年代の婦人会活動の風は吸ったが、八十年代の風を吸うには今がチャンスだ」と思い、頑張ってみよう」と何の抵抗もなく引受けました。そして意欲を燃やして活動に参加しました。やはり活動内容は変わり進歩したと思えました。五十年代から七十年代になかった研修が活動の中に取り入れられ、沖縄のいいの村で一泊二日の勉強ができた時は、自分が会長をして良かったとつくづく思いました。また中央婦人学級でも、玉城村少年自然の家の見学や市町村中央公民館まわり等、目で見ると社会学習もできました。それに婦人会活動の中で行う村まつり行事、婦人スポーツ大会、ゲートボール大会にも楽しく参加でき、組織の意義を深くかみしめています。さらに五〇年に一度回ってくるという全国各地婦人大会が沖縄で開かれ、それに参加できたのは最も私の印象に残ることです。各県の代表の先生方をお見受けして感じたのは、沖縄にくらべてずっと先輩の方が多いということです。これには驚くというよりも非常に感心させられました。

私たちの地域では、五十年代、六十代になると婦人会から抜ける方が多いのは残念に思います。村の会長は「会活動に参加することは、自分自身を磨き人間として大きくなり、得にはなつても損にはならない」と、よく言います。私は小さいながらも組織活動の中で咲く花を見つけたことができた。そしてこれからの自分の方向付けができたことは、婦人会会長をして得た成果だと、組織の有難さを深く感じています。

今帰仁村でも会員の年齢引上げはしましたが、先輩方の参加が少ないのは残念です。婦人会は婦人の生涯教育の場です。さらにその発展は、私たち一人一人の参加によって築かれるものです。一人一人が会員意識を高め、自覚を新たにして、組織の発展を村の発展に結びつける努力をしていただきたいと思います。

そして大きな輪を広げ、常に新しいものを求め、これからの婦人会を発展させていきたいと思います。私も進んで会活動に参加し、組織のため自分のため努力していきたいと思えます。

〈昨年十二月二十一日の第八回村婦人の主張大会より〉

### 輪を広げ 会の発展を



# 壮勇 海の祭典 ハーリー行われる



勇壮な海の祭典「海神祭」が六月二十四日午後運天港で行われた。これは、村水産業の発展と航海の安全を願って、毎年ユツカヌヒー（旧五月四日）に村漁協（沢砥鉄英組合長）が催しているもの。

海神祭では約二千人の観客が見守る中、ハーリーと角力大会が行われた。ハーリーでは組合員による御願ハーリーに続き、八チームが参加して職域ハーリーがあり、両運天チームが優勝を飾った。二位―商工会、三位―商工会青年部の順位。また、角力大会には六人の選手が出場し、上里朝和選手（天底）が優勝した。二位―新城

正也選手（名護）三位―松田茂選手（天底）の順位。ところで、俗にハーリー鐘が鳴ると梅雨が明けるといわれ、この行事とともに、沖繩では本格的な夏を迎えることになる。

▲カイさばきもあざやかに進むハーリー船

## 特別寄稿

私の住む国（アルゼンチン）は、世界最強の帝国である米国と、その衛星国によって後押しされた世界第三位の海軍国である英国を相手に戦っている。という極めて不公平な立場に置かれている。これ位、不公平な戦争はない。それにもかかわらず、私の住む国の人民は十八歳の少年をも含めて戦っている。戦争をしているのは、軍人だけでなく、亜国民全体である。

### あるぜんちん便り

玉城 源五郎

権や亜国の第一の関心事で、あらゆるものに優先する戦死が出ているような非常事態に、一種の祭りに参加すべきでない。更にスポーツ協側では「国際的な約束は守るべきである。これはスポーツで政治と関係ない。戦争とは別なもので参加して亜国の余裕のあるところをみせよう。戦争中でもできる限り正常な生活（活動）を続けていくべきだ。亜国は前回のカンペオンのタイトルを防衛しなければならぬ。亜国の立場を世界にPRするためにも参加すべし」と



「英亜チームの試合で勝った方がマルビーナスを取る」なんていう調停案を出さないかしら!! そうしたらみんなまで応援におしにかけていく。もつともサッチヤーパーさんは、得意のハガネの心臓を発動して、これを受け入れるとは思われな

ブエノスアイレス市 千一四二五、マンシージャ街 三五八五

（五月三十一日）

このたよりは、六月十三日村役場に届きました。紛争は六月十四日一応の停戦をみましたが、戦後処理や諸々の問題解決にはまだまだ多くの時間がかかるようです。一日も早く平和で平穏な日が戻ることを望みたいものです。

（係）

## 男子・北糖、女子・農協が優勝 第八回村職域バレー大会



村体協主催による「第八回村職域バレーボール大会」が、六月二十日北山高校体育館で行われました。

大会は、男子が商工会、北山高、農協、光武病院、北部製糖役場の六チーム、女子が役場、農協、光武病院、兼次同好会の四チーム、それに男子の同好会として湧川と今泊の合計十二チームが出場。

九時三十分の開会式に次いで、十時から熱戦が展開され、各チ

## 第十六回村職域野球大会

### 両運天・北糖が優勝



▲職域の部で優勝した北部製糖チーム

ーム総あたりのリーグ戦の結果男子は北糖チーム、女子は農協チーム、男子同好会は今泊チームがそれぞれ優勝しました。

閉会式では男子優勝の北糖、準優勝の北山高、女子優勝の農協、準優勝の役場、同好会優勝の今泊、準優勝の湧川、女子優勝の兼次同好会にそれぞれト

ロフィーと表彰状が授与されました。また主催者を代表して内間敏村体協長は「この大会を通じて、明るい職場づくりを進めるとともに、住みよい今帰仁村建設のため努力してほしい」と激励のあいさつをのべていました。

村体協主催の「第十六回村職域野球大会」において、同好会の部で両運天チーム、職域の部

運天と長嶽が対戦しました。この試合は、打力に勝る両運天が八対二で快勝。殊勲賞―仲間司（両運）敢闘賞―伊野波盛明（長嶽）打撃賞―長浜雅敏、長浜賢康（両運）伊野波盛守（長嶽）の各選手。また、ホームラン賞が伊野波盛達、糸洲盛勝（長嶽）屋我部功（与那嶺）の三選手に贈られました。

一方、職域の決勝戦は光武病院と北部製糖の間で、六月十九日行われ、十対一で北部製糖が優勝しました。殊勲賞―与那勇（北糖）敢闘賞―光武俊和（光武病院）打撃賞―城間健次、山城利和（北糖）大嶺敦（光武病院）の各選手でした。

## 今帰仁中までの排水を清掃



字仲宗根十三班（伊良波悦子班長）では、六月二六日班内の排水の清掃を行った。場所は田原十字路から今帰仁中学校までの一五〇メートルの通り。ふたを一枚一枚おこしての作業だけに大変な重労働だ。それでも各家庭から二―三名ずつ三十人が参加した。



▲同好会の部―両運天と長嶽の優勝戦。長嶽は一回一死満塁とせめたが惜しくも得点できず

同好会の部―両運天と長嶽の優勝戦。長嶽は一回一死満塁とせめたが惜しくも得点できず





▲新垣 侃氏

### 県PTA連合会より表彰

#### 新垣 侃・与那嶺清治両氏

去る六月六日行われた沖繩県PTA連合会伊良波長幸会長の五十七年度総会において、今帰仁小PTA会長の新垣侃氏(字玉城四三)と、兼次小PTAの与那嶺清治氏(字与那嶺二



▲与那嶺清治氏

一)が表彰されました。両氏とも永年にわたりPTA活動に貢献されており、これらの活動実績が高く評価されたものです。

ようこそ古里へ。ブラジル在住で字湧川出身の嘉陽宗備氏・真栄田義成氏ご夫妻を迎え、六月十五日午後七時から湧川集落センターにおいて「帰省歓迎式」が行われた。これは、湧川農村振興会(嘉陽宗哲会長)と今帰仁村共催によるもので、地元湧川区民を始め、村議員、各区分長、各団長、役場三役、課長など二五〇名が出席し旧交を温めた。帰省は嘉陽氏が五年ぶり、真栄田ご夫妻が四七年ぶりとあって、会場内で手を取り語り合う場面もみられた。式の中で歓迎のあいさつにたった嘉陽宗哲氏は「皆さんをお迎えるのは字民すべての喜び」



と話し、松田村長も「村出身者の海外での活躍は村の誇りである」と讃詞をのべた。これに対し歓迎を受けた嘉陽宗備氏(左)と真栄田夫妻(右)

### 老人医療受給者の皆様へ

7月1日より、受給者証(青色カード)が黄色の受給者証に変わります。まだ切り替えてない方は、村役場厚生課へおこしください。

## 若き後継者たち

③

### 昨年からのすいか栽培

#### 崎山の仲村吉人さん

昨年からの始めたすいかのトンネル栽培に成功。今年も念願の結婚も果たした。仕事・家庭と順風満帆の仲村吉人さん(崎山三三歳、現住所一平敷一三〇)に、今後の抱負を聞いてみた。

今帰仁中卒業後、これまで十数年間、運送業、タクシー運転手、水商売と、あらゆる職業を転々とした。東京からUターンし、すいか作りを始めたのが昨年六月。きっかけは、やはり農業が好きだったことと、今後伸



▲今年五月一日に結婚したばかりの仲村吉人・かずみさん夫婦(結婚披露宴から)

びていく産業、だということから、様々な仕事をやり遂げただけに、農業にかける情熱と期待は大きい。

父親の友吉さん(崎山四八)は、永年すいかを栽培してきたベテラン。吉人さん小さい時からすいか作りにたずさわってきた。露地の友吉さんとハウスの吉人さんは、今は経営は別だが「行く行くは一緒にやりたい」と、吉人さんは語る。

昨年は七五〇坪のハウスに、七十三kgの出荷実績を作った。

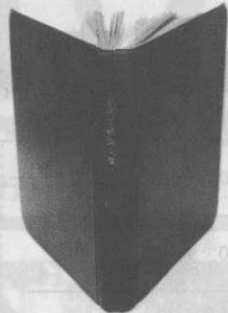
それでも「昨年はできすぎ。人の言うことを聞いただけ。だから偶然にすぎない」と、本人は言う。それだけに二年目における期待は大きく、十月からの植え付けに向けて、ススキを刈り堆肥・土壌作りに余念がない。苗作り、肥培管理、害虫駆除とこれからが神経を使うところ。現在本土向けハウスすいか栽培農家は四〇戸。若い人も結構多い。本人も崎山、仲尾次の青年農業者で組織する「農友会」に所属しているが「村全体で技術向上や意見交換ができる場がほしい」と話していた。

今年三月に北山高を卒業したかずみさんと、五月一日にめでたくゴールイン。きっかけは、かずみさんが昨年吉人さんの仕事のアルバイトをしたことから彼女も農業は初めてで、主婦業と仕事の共立に懸念だ。

二年目を迎える不安もあるが「昨年以上の実績を上げるのが目標」と言う吉人さん・かずみさん夫妻。「結婚もしたし、昨年とは張り合いが違う」とも言う。二人の愛情と情熱は、きつと二年目のジंकスを破ることだろう。これからの活躍に期待したい。

### 故兼次忠蔵氏の論文集村に寄贈

字仲宗根出身の兼次忠蔵氏の遺稿論文集が、この度村に寄贈されました。これは、氏の御長男の忠雅氏より贈られたもので、村の資料として役立てて



ほしいというものです。

兼次忠蔵氏は、明治三十四年仲宗根に生まれ、昭和二年、九州帝国大学林学科を卒業。以後森林利用学の研究で、世界の斯学界に多くの研究成果を発表。

### ラジオ体操でさわやかな汗を

ラジオ体操は、昭和三年に郵政省が国民の健康の保持増進を目的として制定したもので、今日では気軽な健康づくりの方法として広く定着してきました。毎年夏休みの期間中は、全国各地の学校・公園などで、午前六時三十分からラジオ体操会が

昭和二十年二月八日、惜しくも戦病死されました。忠雅氏のご厚意に感謝申し上げます。貴重な資料として大切に保存したいと思えます。

行われます。今年も、夏期巡回ラジオ体操会を全国四三会場で行われます。

### ようこそ古里へ

#### 嘉陽・真栄田氏を招き歓迎式

開催し、その実施模様をNHKラジオ第一放送により全国に実況中継放送いたします。沖繩県においては、七月二十六日(月)の午前六時三十分から名護市で開催されます。村民の皆様もこそって参加し、健康で元気一杯の声を全国の人々に伝えて下さい。なお、開催場所等、詳しいことは郵便局でおたずねください。

ラジルの日系人は約八十万人の真心を玉手箱として持ち帰りたい」と語り、真栄田義成氏も「地球の裏側に帰っても忘れられることのできない思い出」と、喜びを語っていた。その後、字民による「かきやで風」「今帰仁音頭」などの余興があり、会にはぎわった。

ブラジルの日系人は約八十万。うち八万人は沖繩県人といわれる。さらに今帰仁村人は二世・三世を含め、七百余世帯四千人が活躍中だ。また来年は今帰仁村人会結成十五周年にあたり「村からも多くの方がおいでいただければ幸い」と、嘉陽・真栄田氏は話していた。

波郷 雷の下キャベツ抱いて走り出す カミナリがくるのは、一般に雨が降り始めた初期。まだ小降りだから……と思っているうちに、ピカリ、ゴロゴロときて、あわてさせられた経験をおもちの方も多でしょう。



### カミナリ

「春雷」とか「冬の雷」と呼ぶものもありますが、やはり一番多いのは夏。激しい上昇気流で背の高い雲が生ずるときに、電氣的なアンバランス状態ができるからですが、この季節はまた山や野、海辺などにレジャーの人出が多い時期でもあるので、被害が重なります。毎年、落雷による死者は平均20人、負傷者は30人前後出ています。最も危険なのは、むき出しの平らな場所にいるとき。空に近い物に落雷しますから、金属類を捨てても立っただけは危険。雷鳴が近いときは、逃げ出すよりもまず伏せることです。

自動車の中、電車の中などは安全ですからあわてる必要はありませんが、家の中でも、部屋の中央にいる方が安全。電灯のすぐ近くは避け、テレビなどはコンセントを抜き、雷鳴の激しいときには電話も使わない方が無難。配線を伝わって受話器をこがしてしまった例などもあるからです。雷雲は1か所にとどまるとはならないので、カミナリの通過までしばらくのしんぼうが肝要。昔の人は、あの光がお米を実らせるとみて「稲妻」「稲光」などとも呼びました。



いなびかり北よりすれば北を見る 多佳子

なきじん版

7月1日～8月1日

# 村民カレンダー



7/1 木	○村を考える懇談会 (14:00、今泊)	17 土	○村を考える懇談会 (14:00、勢理客)
2 金	○村を考える懇談会 (14:00、兼次)	18 日	○陸上記録会 (13:00、村営グラウンド) ○乳児一般健康診査 (9:00～15:00、役場ホール)
3 土	○村老人ゲートボール大会 (8:30、 村営グラウンド)	19 月	○村を考える懇談会 (14:00、渡喜仁)
4 日	○村老人ゲートボール大会 (8:30、 村営グラウンド)	20 火	○母親学級 (13:30、中央公民館) ○区長会 (14:00、役場ホール) ○北部地区老人ゲートボール大会 (10:00、名護市21世紀の森)
5 月	○区長会 (14:00、役場ホール)	21 水	○村を考える懇談会 (14:00、上運天) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
6 火	○村を考える懇談会 (14:00、仲尾次) ○母親学級 (13:30、中央公民館)	22 木	○村を考える懇談会 (14:00、古宇利)
7 水	○村を考える懇談会 (14:00、崎山) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○村公連役員会 (14:00、中央公民館)	23 金	○村を考える懇談会 (14:00、与那嶺) ○中央高齢者教室 (村外研修)
8 木	○村を考える懇談会 (14:00、平敷) ○村球格技大会申込締切り (午後7時)	24 土	○国頭郡体協野球大会 (9:00、名護市) ○一般ゲートボール大会 (8:30、村営グラウンド)
9 金	○村を考える懇談会 (14:00、越地)	25 日	○国頭郡体協野球大会 (9:00、名護市) ○一般ゲートボール大会 (8:30、村営グラウンド)
10 土	○村を考える懇談会 (14:00、謝名)	26 月	○村を考える懇談会 (14:00、運天) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場)
11 日	○村球格技大会 (9:00、北山高外)	27 火	○村を考える懇談会 (14:00、諸志) ○母親学級 (13:30、中央公民館) ○ユネスコ協会今帰仁支部結成式 (14:00、中央公民館)
12 月	○村を考える懇談会 (14:00、仲宗根) ○人権相談 (10:00、中央公民館) ○中央婦人学級開講式 (14:00、中央公民館)	28 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
13 火	○村を考える懇談会 (14:00、玉城) ○母親学級 (13:30、中央公民館)	29 木	○村公連研修会 (村外研修)
14 水	○村を考える懇談会 (14:00、呉我山) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	30 金	
15 木	○村を考える懇談会 (14:00、湧川)	31 土	
16 金	○村を考える懇談会 (14:00、天底) ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)	8/1 日	

望みたいところ。是非ご出席を。

■今月は全字で「村を考える懇談会」が行われる。後世に誇れる村づくりに、全村民の参画を望みたいところ。是非ご出席を。

■夏真っ盛り。梅雨明けとともにせみの鳴き声がかん高い。今月は、各学校とも夏休みに入る。この時期に気をつけたいのは健康管理と水難事故防止。先月も名護市でいたけな子供の事故があったばかり。皆んなで注意をはらい、犠牲を防ぎたいもの。

■先月は各団体の総会が目白おし。今年度の事業計画を決定し活動を開始した。各団体とも活動が充実してきたのは喜ばしい。社会教育が重視される所以だ。

■役場にいると色んなおもしろいことに出合う。先日「昔村に世話になった」という匿名の御仁より電話で琉歌をプレゼントされた。その中から一、二首「乙羽山のおて わが村を見りば 今帰仁ぬ村や 花の都」

「うむくとやあまた 今帰仁ぬ村に 今帰仁の栄 御願さびら」

## 編集後記

